

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成25年10月18日

| | | | |
|-----|---------|-----|-------|
| 施設名 | 高知県立美術館 | 所管課 | 文化推進課 |
|-----|---------|-----|-------|

1 施設の概要

| | | | |
|--------|--|-----------|---------------------------|
| 指定管理者名 | 公益財団法人高知県文化財団 | 指定期間 | 平成21年 4月 1日 ~ 平成26年 3月31日 |
| 施設所在地 | 高知市高須353番地2 | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・美術品及び美術に関する資料の収集、保管及び展示 ・美術に関する専門的な調査研究 ・美術に関する講演会、講習会、研究会等の教育普及活動 ・美術品等の展示のための県民ギャラリーの提供 ・音楽、演劇等の鑑賞のためのホールの提供 ・上記のほか、美術館の設置の目的を達成するために必要な業務 | | |
| 施設内容 | <p><建物> 延べ床面積: 6,388㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造地上3階建 <土地> 19,574㎡ 駐車場 144台 <主要施設> 常設展示室、企画展示室、県民ギャラリー、講義室、創作室、ミュージアムショップ、レストラン、美術館ホール(399席)など <開館時間> 午前9時～午後5時(ホール、リハーサル室及び楽屋は午前9時～午後10時) <休館日> 12月27日～1月1日 <主な料金> 常設展 一般350円・大学生250円 ※高校生以下、高知県長寿手帳(65歳以上)、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳を所持する者と介護又は介助者1名、高知市長寿手帳を所持する者は無料 施設利用料 県民ギャラリー-21,230円(1日)、企画展示室53,100円(1日) ホール1日38,080～45,910円</p> | | |
| 職員体制 | 常勤職員: 11人 | 契約職員: 14人 | 合計: 25人 |

※職員数は平成24年4月1日現在

2 収支の状況

単位:千円

| | | 平成23年度(決算) | 平成24年度(決算) | 平成25年度(予算) |
|-------------|---------|------------|------------|------------|
| 収入 | 県支出金 | 289,864 | 302,276 | 310,339 |
| | 事業収入 | 46,009 | 66,472 | 49,422 |
| | その他 | 42,973 | 36,276 | 44,430 |
| | 収入計 | 378,846 | 405,024 | 404,191 |
| 支出 | 事業費 | 371,388 | 400,847 | 402,831 |
| | (うち人件費) | (102,096) | (119,689) | (125,050) |
| | その他 | 7,458 | 4,177 | 1,360 |
| | 支出計 | 378,846 | 405,024 | 404,191 |
| 収支差額(a)-(b) | | 0 | 0 | 0 |

H24決算は公益法人会計に移行したため、H23までに管理運営経費としていたものの一部を事業費に計上している

3 利用状況

| | | 平成23年度(実績) | 平成24年度(実績) | 前年度比較 | |
|----------------------|--|------------|------------|-----------|--|
| ①年間利用者数 合計 (単位:人) | 常設展 | 8,505人 | 7,255人 | - 1,250人 | |
| | 企画展 | 40,028人 | 61,845人 | + 21,817人 | |
| | 美術館ホール | 4,081人 | 3,359人 | - 722人 | |
| | 小計 | 52,614人 | 72,459人 | + 19,845人 | |
| | 貸し館 | 43,378人 | 63,472人 | + 20,094人 | |
| | 貸し館(ホール) | 41,401人 | 36,583人 | - 4,818人 | |
| | 県民ギャラリー | 61,826人 | 80,080人 | + 18,254人 | |
| | 小計 | 146,605人 | 180,135人 | + 33,530人 | |
| | 合計 | 199,219人 | 252,594人 | + 53,375人 | |
| | <利用実績> 平成24年度の全体の来館者数は、前年に比べ約5万3千人の増となった。 美術館事業(常設展、企画展、ホール)では、「絵師・金蔵生誕200年記念 大絵金展極彩の間」11,302人、「リヒテンシュタイン華麗なる侯爵家の秘宝」39,885人の企画展が大幅な来館者増につながり、前年に比べ約2万人増の72,459人となった。 貸し館事業では、平成24年度が「ガラス展」14,292人ほか、県展等を含め43,378人の入館者数であったのに対し、平成24年度は、「シャガール・愛の物語」34,349人、「トリックアート展」31,005人、「山本二三展」23,010人ほか、県展等を含め約3万3千人増の180,135人となった。 | | | | |

要求水準 1

「アートセンターとしての役割の確立を目指す」

展覧会、ホール事業、教育普及事業(アウトリーチ)を3つの柱に、幅広い活動を展開する。
また、指定管理期間を通じて利用者を増やすことで、県民の文化を支える総合的なアートセンターとしての存在感を高める。また、子どもたちが芸術に触れるという観点で事業を計画し実施する。

| 評価項目 | 評価 | 意見(コメント) |
|---|----|--|
| <p>○ 県民が期待する質の高い作品に触れる場を提供し、芸術や文化に対する関心を深める。</p> <p>・県民の財産である館所蔵作品が多く県民の目に触れることができるよう、展覧会での計画的な公開とデジタルデータ化などに努める</p> <p>・世界有数のシャガールコレクションなどを生かして高知県立美術館発の企画、情報を発信する</p> | A | <p>・所蔵作品を生かした展覧会ができた他、デジタル化にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>・リヒテンシュタインの企画はよかった。</p> <p>・コレクション以外の展示を行うことで、美術館の役割を広くアピールしている。</p> <p>・バランスの取れた企画を行った。</p> <p>・県外美術館へのアピールも行った。</p> <p>・4回の企画展全てが良かった。</p> <p>・大絵金展の図録が美術館連絡協議会の優秀カタログ賞を受賞したことは評価出来る。</p> <p>・県民自慢の美術館になっている。</p> <p>・一大シャガールコレクションの美術館でシャガールの企画展が開かれた。見ごたえがあり、また存在感をアピールできたと思う。来館者の傾向として、美しい物を展示した時は入館が多い。</p> |

| 評価項目 | 評価 | 意見(コメント) |
|--|----|--|
| <p>○ ホール事業は、演劇、舞踊、音楽、映画の分野を中心に多彩な舞台芸術を県民に提供するとともに、美術館に本格的なホールが併設されているという特徴をこれまで以上に生かした事業を企画し、これらの分野で全国に誇れる存在となる。</p> | A | <p>・多彩な公演を実現している。</p> <p>・マイケル・クラークカンパニー日本初上演を行った。</p> <p>・四国で唯一指定された文化庁の「海外発信拠点形成事業」では地域住民と連携し、作品を創作した。</p> <p>・充実したホール事業を展開している。</p> <p>・全国的に評価されている。</p> <p>・ホール事業はいつも目新しく、刺激をくれる。美術館ファンは県内にも多く、催を心待ちにしている人もいる。高知に滞在しての作品づくりは、芸術家にとっても県民にとってもうれしい事だと思う。</p> |

| 評価項目 | 評価 | 意見(コメント) |
|---|----|---|
| <p>○ 教育普及に関しては、展覧会に関連する講演やワークショップなどの実施、アートライブラリーの充実等、館内でのプログラムを進めるほか、館外に出向いて事業を行うなど美術館から遠い地域を含めて県内全域でアートが身近に感じられる取組みを進める。</p> | A | <p>・館内外において積極的に普及に取組み、「親しみやすさ」に力を入れている。</p> <p>・ギャラリートーク(館内解説)の充実、出前美術館講座等々で教育普及活動に力を入れている。</p> <p>・ギャラリートークはわかり易く、作品への親しみも沸いて良い。</p> |

| 評価項目 | 評価 | 意見(コメント) |
|--|----|---|
| <p>○ 美術館の基本的かつ重要な機能である保存及び収集について、収蔵作品の適切な保管に努め、信頼される美術館としての評価を高める。 特に、南海大地震やその他の風水害から美術作品を守る観点から、管理運営面での対策を行う。また、寄贈を中心として資料収集に努める。</p> | A | <p>・基本的な地震・津波対策は早めに進めて欲しい。</p> <p>・水害にあった経験を最大限に生かして備えて欲しい。</p> <p>・石元氏の貴重な資料等を寄贈されたのは、これまでの館の姿勢が評価されたから。</p> <p>・石元作品という価値の高い作品をコレクションに加えることができた。</p> <p>・新たな作品収集を常に心がけて欲しい。</p> |

要求水準 2

「県民の芸術文化の活動を支援する」

アートの拠点として県民の創造的な芸術文化活動を支援し、育てる役割を担う。
この場合、美術館に来ることが容易な県中央部だけでなく、県内全域でアートに触れ楽しむことができる視点到留意する。

| 評価項目 | 評価 | 意見(コメント) |
|---|----|---|
| <p>○ 他の美術館をはじめ市町村、NPO等関係団体の活動に協力するなど、県内各地域でのアートの取組みに支援を行う。</p> <p>・作品の貸出、企画展の支援、合同展の実施教育普及事業の相互協力などを行う。</p> <p>・県内の芸術家、演奏家を支援する取組を行う。</p> <p>・カルチャーサポーターが主体的に事業に参画できる仕組みづくり</p> | A | <p>・県内全域での活動をさらに進めて欲しい。そのことが来場にも結びついていくと思う。</p> <p>・ミロ展では県内の若手写真家と連携したワークショップを開催するなど、若手芸術家の支援に力を入れている。</p> <p>・遠隔地への出前びじゅつ講座も積極的にしている。</p> <p>・県民ギャラリーの稼働率高い。(86.4%)</p> <p>・各版画などワークショップ等も好評である。</p> |

効率的な運営、サービスの向上、施設、設備の管理

| 評価項目 | | 評価 | 意見(コメント) |
|--------------|--|----|--|
| 適正な管理運営の確保 | 社会的責任 ・法令等の遵守 ・個人情報、情報公開の状況 建物や設備の管理 ・点検・修繕の実績 ・業務委託の状況 危機管理 ・風水害、火災、地震、盗難等危機管理対策 ・マニュアルの作成 ・職員研修 | A | ・職員一人一人の情報共有に努めている ・事業収入は前年度を上回り、外部資金(文化庁補助金等 33,150千円)導入についても積極的に取り組んだ成果が出ている。 ・外部資金の実績は大いに評価できる。 ・震災対応マニュアルは早急に取りまとめて欲しい。 ・開館20周年を迎え、大規模な修繕が必要となり適宜実施している。 ・来館者アンケートのほか、館内での出来事を随時報告する窓口や館長連絡ノートを運営に生かしている。 ・積極的に美術品、収蔵品の安全、管理体制を整えている。 ・目標を上回る入館者となっている。 ・クレームや課題、美術館主催の展覧会等様々な情報の共有化が図られている。 |
| 利用者サービスの維持向上 | サービス向上への取組 ・自己点検・評価の状況 ・事故、クレームへの対応 ・職員の専門性の向上 ・研修の実施状況 ・その他サービス向上の取組 | | |
| 利用実績 | 利用実績の状況 ・利用状況の分析 | | |
| 収支の状況 | 経営努力 ・収入増加の取組 ・経費削減の取組 | | |

| | 評価 | 意見(コメント) |
|------|----|---|
| 総合評価 | A | ・全般に、要求水準を超える運営ができています ・より質の高い展覧会を企画し、県内外からの来館者増につなげて欲しい。 ・震災対策を県とともに進めて欲しい。 ・収蔵品、展示品を確実に守る対策が望まれる。 ・外部資金33,150千円のうち80%を文化庁から獲得したことは素晴らしい。 ・四回の企画展をふり返って評価が様々である。 ・メディアとのタイアップが出来ているものは集客が多い。事前告知が大切と思う。 ・ツイッターは想像以上に反応が早い。若い世代には効果的なアピールとなるので活用して欲しい。 ・ホール事業では幕合いの時間の演出も重要であり、来館者の非日常的な体験の評価も注目している。 ・リヒテンシュタイン開催にあたり、日常のネットワーク、情報収集が大変役に立っている。 ・CMづくりへの美術館のかかわりとして著作権も含め内容の詳細を打ち合わせている。 ・事業展開の多彩さと面白さなど職員が意識を持って取り組んでいることがよくわかる。 ・収入が伸びているのは驚異的。 ・全ての項目で素晴らしい実績を上げているので、今後も大いに期待している。 ・展示、ホール事業とも県民が誇れるものになっている。 ・事業による収入実績が目標に未達ですが、やっている内容はどれも素晴らしい。来年度に大きな期待を込めたいとします。(少数評価のため最終はAに)一層頑張ってください。 |
| 県の評価 | A | ・平成24年度は質の高い大型企画展を開催したこと、郷土の作家を取り上げた「大絵金展」が学術的にも高く評価され、制作した図録も賞を受賞したこと、外部資金を積極的に取り入れ事業の充実を図ったことなど、要求水準を超える業務を遂行したと認められる。 |

【評価の目安】

- A：仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B：おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C：仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D：管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

この「4. 県の要求水準に対する評価」は、外部の有識者等で構成する委員会による評価及び意見と、それらをもとに県が評価及び意見を付したものです。

平成24年度事業報告書

(1) 美術館

常設展（コレクション展）及び企画展の開催や、館内外での教育普及活動を実施したほか、いの町上東地区において、地域の文化資源の再発見と活用をめざした地域住民等の取り組みを支援した。

美術館ホールでは、18年度から実施している美術館ホール活性化計画に基づき、舞台芸術、音楽、映画などさまざまなジャンルの芸術を展開した。

また、芸術文化創造・発表の場として、県民ギャラリーや美術館ホール等の貸出を行った。さらに、イギリスの若手舞台アーティスト1組を招へいし、作品創作と小発表会を行った。

ア 美術館利用状況

(ア) 展覧会等

| 展 覧 会 | | 入館者 (人) | 料金 (千円) | 備 考 |
|----------|---------------|---------|---------|---|
| 主 催 | 常設展 (コレクション展) | 7,255 | 2,226 | (主催展の入館者内訳) 一 般: 40,461人 大 学 生: 1,858人 小中高生: 4,579人 減免・招待者: 22,202人 |
| | 企画展 (館蔵品展含む) | 61,845 | 27,275 | |
| | 美術館ホール | 3,359 | 6,806 | |
| | 計 | 72,459 | 36,307 | |
| 貸 館 | シャガール・愛の物語 | 34,349 | — | (ホールの入場者内訳) 一 般: 2,521人 小中高生: 554人 減免・招待者: 284人 |
| | 第66回高知県展 | 10,617 | — | |
| | 第16回スピリットアート展 | 4,403 | — | |
| | 第41回ホルト・パワ文化展 | 3,763 | — | |
| | 第63回こども県展 | 6,597 | — | |
| | 第33回高知県女流展 | 3,743 | — | |
| | 計 | 63,472 | — | |
| 美術館ホール | | 36,583 | 12,297 | 利用日数: 229日 |
| 県民ギャラリー等 | | 80,080 | 8,507 | 利用日数: 316日 |
| 会議室・講義室等 | | — | 74 | 利用日数: 34日 |
| 写真撮影等 | | — | 325 | 件 数: 92件 |
| 合 計 | | 252,594 | 57,510 | |

(イ) その他の事業

| | 事 業 名 | 年間合計利用者数 (人) |
|----|-------------------|--------------|
| 館内 | ホール事業 (会場: 第4展示室) | 238 |
| | ワークショップ・講座等 | 13,334 |
| 館外 | ハローミュージアム | 462 |
| | 出前びじゅつ講座 | 708 |
| | 出前クラシック教室 | 467 |
| | 講師派遣 | 60 |

| | | |
|--|---------------|--------|
| | 舞台（演劇・コンサート） | 2,226 |
| | 休・廃校活性化プロジェクト | 21 |
| | 計 | 17,516 |

(ア)+(イ) 利用者数総計 270,110人

イ 外部資金（助成金、補助金、賞金）

| 交付先 | 事業名 | 金額（単位：千円） |
|----------|---|-----------|
| 美術館連絡協議会 | 2012年度美術館活動助成 絵金公式ガイドブック2012 | 500 |
| (財)地域創造 | 平成24年度地域の文化・芸術活動事業助成金 国際共同製作(ドリームシンク) | 1,380 |
| (財)地域創造 | 平成24年度地域の文化・芸術活動事業助成金 次世代音楽劇(ファンファーレ) | 4,331 |
| 文化庁 | 平成24年度文化芸術振興費補助金(優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業) 高知パフォーミングアーツフェスティバル2012 | 12,718 |
| 文化庁 | 平成24年度文化芸術振興費補助金(文化芸術の海外発信拠点形成事業) 舞台芸術レジデンス | 4,915 |
| 文化庁 | 平成24年度文化芸術振興費補助金(文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業) 大絵金展 | 9,006 |
| 美術館連絡協議会 | 2012年度「美連協カタログ論文賞」 大絵金展図録「絵金 極彩の闇」 | 300 |
| | 計 | 33,150 |

ウ 展覧会開催事業

(ア) 常設展（コレクション展）

a シャガール・コレクション展(第1展示室)

| 展覧会名 | 会期 | 日数 | 備考 |
|----------|-------------------------------|-------|-------------------------|
| サーカス | H24.6.6(水) ～H24.8.5(日) | 61 | |
| ポエム | H24.8.7(火) ～H24.10.8(月) | 62 | 9月25日(火)休館 |
| 以心伝心 | H24.10.10(水) ～H24.12.9(木) | 61 | |
| ポスター(前期) | H24.12.12(水) ～H25.2.11(月) | 55 | 12月26日(水)～ 1月1日(火)休館 |
| ポスター(後期) | H25.2.13(水) ～(H25.3.31(日)) | (47) | 会期は4月14日まで 61日間 |
| | 計 | (286) | 300日 |

b 館蔵品展(第2・第3展示室)

| 展覧会名 | 会期 | 日数 | 備考 |
|---------------|-------------------------------|------|-------------------|
| 館蔵品展—物語る美術 | H24.6.9(土) ~H24.7.16(月) | 38 | |
| 高知の美術 ア・ラ・カルト | H25.3.16(土) ~(H25.3.31(日)) | (16) | 会期は4月7日まで 23日間 |
| 計 | | (54) | 61日 |

c コレクション展(第4展示室)

| 展覧会名 | 会期 | 日数 | 備考 |
|---|-----------------------------|-------|-------------------------|
| 没後20年 木口木版画家・ 日和崎尊夫とその周辺 | H24.4.1(日) ~H24.6.24(日) | (85) | 会期は3月21日から 96日間 |
| 美術館の夏休み「TABERU-日々のう つわ、手に包まれる食の道具たち」 | H24.7.1(日) ~H24.8.12(日) | 43 | |
| 高知の戦後洋画と前衛土佐派 | H24.10.17(水) ~H25.1.6(日) | 75 | 12月26日(水)~ 1月1日(火)休館 |
| 追悼展 写真家・石元泰博の軌跡 | H25.1.9(水) ~H25.3.2(土) | 53 | |
| 計 | | (256) | 267日 |

(イ) 企画展

| 展覧会名 | 会期 | 日数 | 観覧者(人) |
|------------------------------|-------------------------------|-----|--------|
| ピカソ、ダリと並ぶスペイン近代絵 画の巨匠 ミロ展 | H24.7.21(土) ~H24.9.23(日) | 65 | 8,276 |
| 絵師・金蔵生誕200年記念 大絵金展 極彩の闇 | H24.10.28(日) ~H24.12.16(日) | 50 | 11,302 |
| リヒテンシュタイン 華麗なる侯爵家の秘宝 | H25.1.5(土) ~H25.3.7(木) | 62 | 39,885 |
| 計 | | 177 | 59,463 |
| (実行委員会形式 シャガール 愛の物語) | H24.4.8(日) ~H24.6.3(日) | 57 | 34,349 |

エ 教育普及事業

(ア) 芸術文化に親しむ機会の提供

a ハロー!ミュージアム(学校移動美術館)

| 開催校名 | 実施日 | 参加者(人) |
|-------------------|-------------------------|--------|
| 宿毛市立篠山小・中学校ほか 全3校 | H24.11.8(木),20(火),27(火) | 462 |

b 出前びじゅつ講座

| 開催校等名 | 実施日 | 参加者(人) |
|----------------|---------------------|--------|
| 高知工科大学他 延べ12ヶ所 | H24.6.25(月)ほか 延べ12日 | 708 |

c 出前クラシック教室

| 開催校名 | 実施日 | 参加者(人) |
|-------------------|---------------------|--------|
| 南国市立国府小学校他 延べ12箇所 | H25.1.15(火)ほか 延べ12日 | 467 |

d 講師派遣

| 実施校 | 実施日数 | 参加者数(人) |
|----------|---------------|---------|
| 高知市教育研究会 | H24. 8. 21(火) | 60 |

e 職場体験・博物館実習・インターンシップの受け入れ

| 学校名 | 実施月 | 参加者(人) |
|---------------------------|------------------|--------|
| 職場体験(三里中、一宮中) | H24. 5 H24. 7 | 3 |
| 博物館実習(高知大他 全6大学) | H24. 8 | 8 |
| インターンシップ(高知工科大、岡豊高、高知県立大) | H24. 8 | 4 |
| 計 | | 15 |

f 学校団体見学受け入れ

| 学校名 | 実施日 | 参加者(人) |
|-----------------|-----|--------|
| 私立土佐中学校ほか 延べ47校 | 通年 | 1,486 |

(イ) 講座・ワークショップ

a 創作講座等

| 事業名 | 実施日 | 行事名・内容 | 講師等 | 参加者(人) |
|------|----------------|---------|------------------|--------|
| 版を学ぶ | H24年4、5月 8回 | 銅板画×木版画 | 指導:水谷昇雅 (版画家) | 延96 |

b 平成24年度緊急雇用創出地域文化活用事業(休・廃校活性化プロジェクト)

| 実施場所 | 実施日 | 事業内容 | 参加者(人) |
|----------------|---------------|--|--------|
| いの町立上東小学校(休校中) | H25. 3. 31(日) | KOZOで写真体験ワークショップ 講師 西丸雅之(写真技法研究家) 吉岡悟(写真家) | 21 |

(ウ) 展覧会開催関連企画

a ギャラリートーク

| 展覧会名 | 実施日 | 参加人数(人) | 備考 |
|--------------------------|---------------------|---------|----------------------|
| ピカソ、ダリと並ぶスペイン近代絵画の巨匠 ミロ展 | H24. 7. 22(日)他、全10回 | 252 | 手話通訳、英語通訳付クイックガイド各1回 |
| 絵師・金蔵 生誕200年記念 大絵金展 極彩の闇 | H24. 11. 3(土)他、全6回 | 199 | 手話通訳、英語通訳付クイックガイド各1回 |
| リヒテンシュタイン 華麗なる侯爵家の秘宝 | H25. 1. 6(日)他、全7回 | 230 | 手話通訳、英語通訳付クイックガイド各1回 |
| シャガール 愛の物語 | H24. 4. 8(日)他、全12回 | 376 | 手話通訳、英語通訳付クイックガイド各1回 |
| シャガール・コレクション展 | 土・日曜日(通年)全82回 | 476 | |

| | | | |
|---------|------------------|-------|--|
| 館蔵品展 | 日曜日 (会期中) 全 9 回 | 83 | |
| コレクション展 | 土曜日 (会期中) 全 40 回 | 178 | |
| 参加者合計 | | 1,794 | |

b 講演会等

| 展覧会名 | 実施日 | 講師名 | 参加者 (人) |
|---|--------------------------------|---|------------|
| ピカソ、ダリと並ぶスペイン近代絵画の巨匠 ミロ展 | H24. 9. 9(日) | スペシャルギャラリートーク 松本教仁(学芸課チーフ) | 22 |
| 絵師・金蔵 生誕 200 年記念 大絵金展 極彩の闇 | H24. 10. 28(日) | 研究発表&記念シンポジウム 鍵岡正謹(岡山県立美術館長) 横田恵(絵金蔵)蔵長 宮下規久朗(神戸大学准教授) 菅原真弓(京都造形芸術大学准教授) 後藤雅子(主任学芸員) | 70 |
| | H24. 12. 16(日) | スペシャルレクチャー 「芝居絵屏風の科学調査」 松島朝秀(高知大学准教授) | 67 |
| リヒテンシュタイン 華麗なる侯爵家の秘宝 | H25. 1. 5(土) | 記念講演会 「リヒテンシュタイン侯爵家コレクションの歴史と特性」 ヨハン・クレフトナー (リヒテンシュタイン侯爵家コレクションディレクター) | 68 |
| | H25. 1. 26(土) H25. 2. 23(土) | サタディーレクチャー 「近代ヨーロッパ絵画の展開」 サタディーレクチャー 「バロック美術の魅力」 奥野克仁(学芸課チーフ) | 50 |
| シャガール 愛の物語 | H24. 4. 8(日) | 記念講演会 「シャガールとロシア」 タチアナ・グバノア (トレチャコフ美術館国際部長) | 60 |
| | H24. 4. 22(日) H24. 5. 12(土) | 記念レクチャー 「高知とシャガール」 サタディーレクチャー 「私たちはなぜシャガールが好きなのか?」 奥野克仁(学芸課チーフ) | 37 |
| 美術館の夏休み 「TABERU—日々のうつわ、手に包まれる食の道具たち」 | H24. 7. 1(日) | スペシャルギャラリートーク 祥見知生(「うつわ祥見」主宰) | 23 |
| 参加者合計 | | | 397 |

c 映画上映会

| 展覧会名 | 実施日・会場 | 上映作品名 | 入場者(人) |
|-----------------------------------|---------------|-----------------------|--------|
| 絵師・金蔵 生誕 200 年 記念 大絵金展 極彩の闇 | H24. 11. 3(土) | 「闇の中の魑魅魍魎」 「ちんなねえ」 | 978 |

d 展覧会関連ワークショップ

| 展覧会名 | 実施日 | 行事名・内容 | 講師等 | 参加者(人) |
|---|---------------|-----------------------------|--------------------------------|--------|
| ピカソ、ダリと並ぶスペイン 近代絵画の巨匠 ミロ展 | H24. 8. 12(日) | ピンホールカメ ラ・ワークショップ | 岡本明才 (写真家) | 45 |
| | H24. 8. 19(日) | | | |
| シャガール 愛の物語 | H24. 4. 21(土) | 愛する思いをプロ ーチに込めて | 村岡マサヒロ (漫画家) | 83 |
| | H24. 4. 28(土) | 愛があふれるヘン テコかわいい花束 づくり | なかひらじゅ んこ (イラストレ ーター) | 63 |
| | H24. 4. 30(土) | シャガールになっ て絵を描いてみよ う | 井関さおり 国吉晶子 (造形作家) | 190 |
| | H24. 5. 12(土) | 恋するミモリヨー シカ | 三本桂子 (イラストレ ーター) | 138 |
| 美術館の夏休み 「TABERU-日々のうつわ、手 に包まれる食の道具たち」 | H24. 7. 22(日) | うつわを知ろう、感 じてみよう | 祥見知生 (「うつわ祥 見」主宰) | 25 |
| 参加者合計 | | | | 544 |

e その他

| 事業名 | 実施日 | 内容等 | 参加者(人) |
|----------------|--------------------------------|-----------------------|--------|
| みんな集まれ!シャガール体操 | H24. 5. 20(日) | 高橋唐子 (美術家) | 60 |
| 道具市 | H24. 7. 21(土) | — | 344 |
| 大貫妙子トーク&ライブ | H24. 8. 4(土) | 大貫妙子 (音楽家) | 278 |
| 絵本読み聞かせの会 | H24. 8. 26(日) H24. 9. 16(日) | さんさんテレビア ナウンサー | 95 |
| 開館記念事業「絵金灯明」 | H24. 11. 3(土) | 藤浩志(美術家) 尾方孝弘(美術家) | 3,053 |
| 土佐絵金歌舞伎 | H24. 11. 11(日) | 土佐絵金歌舞伎伝 承会 | 350 |
| ミニ素浄瑠璃の会 | H24. 11. 25(日) | 竹本美園(太夫) 竹本園芳(三味線) | 48 |

| | | | |
|---|-------------------------------|---|-------|
| 美術館でお姫様体験 | H25. 2. 1(金)～ 2. 17(日) 10回 | — | 335 |
| アートライブラリー 企画展等関連図書展示 「シャガール愛の物語展」「物語る美術展」 「ミロ展」「大絵金展」 「リヒテンシュタイン展」 「高知の美術ア・ラ・カルト展」 | 各展覧会 会期中 | — | 4,889 |
| 参加者合計 | | | 9,452 |

(エ) その他

a 託児サービス

| 事業名 | 実施回数 | 利用者(人) | 備考 |
|---------------|------|--------|------------|
| 「シャガール 愛の物語」他 | 14 | 33 | ムッターキントに委託 |

b その他

| 事業名 | 実施日 | 参加者(人) | 備考 |
|----------------------------|--------------------------------|--------|----|
| バックヤードツアー | H24. 8. 18(土) H24. 8. 22(水) | 37 | |
| 夏休み工作教室 「スノードームを作ってみよう」 | H24. 8. 26(日) | 21 | |
| 計 | | 58 | |

オ 美術館ホール事業

(ア) ホールでの事業

| 事業名 | 入場者(人) | 実施年月日 |
|---------------------------------------|--------|-----------------------------|
| マイケル・クラーク・カンパニー 「カム・ビーン・アンド・ゴーン」公演 | 633 | H24. 5. 17(木) 5, 18(金) |
| 春の定期上映会 | 94 | H24. 5. 20(日) |
| 青年団「東京ノート」公演 | 317 | H24. 7. 6(金) 7. 7(土) |
| コンフェティ劇団 「チックタックの秘密のとびら」公演 | 443 | H24. 7. 27(金) 7. 28(土) |
| 夏の定期上映会 「新海誠監督特集アニメーションの世界」 | 192 | H24. 8. 19(日) |
| 秋の定期上映会 「アートドキュメンタリー」 | 505 | H24. 10. 14(日) 10. 15(月) |
| 音楽劇 「ファンファーレ」公演 | 858 | H24. 10. 26(金) 10. 27(土) |
| 冬の定期上映会 「ばらの騎士」 | 317 | H25. 2. 10(日) |

| | | |
|----|-------|--|
| 合計 | 3,359 | |
|----|-------|--|

(イ) ホール以外での事業 (共催事業)

| 事業名 | 入場者(人) | 実施年月日 |
|-----------------------------------|--------|------------------------|
| 演劇祭KOCHI2012 *共催事業 | 1,189 | H24.4~H24.5 |
| 四万十川国際音楽祭2012 *共催事業 | 976 | H24.7~H25.2 |
| ユニット・シアン(金森穰&井関佐和子)「シアンの家」公演 | 238 | H24.9.1(土) 9.2(日) |
| ベルリン,ネバダ小発表会 (アーティスト・イン・レジデンス) | 61 | H25.3.14(木) 3.15(金) |
| 計 | 2,464 | |

カ 文化芸術の海外拠点形成事業

平成23年度に導入した文化庁のアーティスト・イン・レジデンス事業(定額5,000千円補助、原則5年間継続)により、平成24年度も前年に引き続きNPO法人STスポット横浜との協働で、英国から計4組のアーティストを招へいし、そのうち1組(ベルリン、ネバダ)が高知に1カ月滞在し、作品創作と小発表会を行った。

毎年度異なるアーティストを招へいしながらも、長期的な視野のもと、地域に開けた事業となるよう更なるネットワーク構築と地域還元の仕組みを模索する。